



羽田新ルート 7日間の実機飛行



大井町期前のきゅりあん上空を低空飛行する羽田新ルートの実機飛行。通行中の方が騒音と迫りくる機体の姿に驚き、立ち止まって見上げていました。

騒音、威圧感、落下物の不安

「これが、この先ずつと続くなんて」

品川区民投票の成功で計画撤回を

520便が低空飛行

2月2日から連続して羽田新ルートの実機飛行（試験飛行）が行われ、7日間で520便の飛行機が都心・品川を通過しました。

実際の低空飛行を見て、驚かれた方も多かったのではないのでしょうか。

区民の平穏な日常を、あの騒音、機体の腹が見える威圧感、次から次へと繰り返し飛行する頻度、万が一の事故が起きたらとのゾッとする不安など、私も実際の姿を見て、驚きと同時に、こんな住民犠牲、住民無視の計画に腹立たしい思いをしました。裏へ

「窓を閉めていても騒音が聞こえる」「落下物が不安」

まちな声

西大井にお住いの方は「想像以上に低く次々と飛ぶ飛行機の姿に驚いた。これがこの先ずっと続くと思うとゾッとする」と話します。

大井にお住いの方は「窓を閉めていても、部屋の中まで騒音が聞こえる。繰り返し響く独特のエンジン音で日常の暮らしが完全に変わった。季節が暖かくなり窓を開けると、いったいどうなるのか」と。大井町駅前では「飛行機の巨大な姿が真上を飛ぶたびに恐怖を感じる。いつか何か落ちてくるのではと不安です」と話します。

進入角度引き上げ

羽田新ルートは空港への着陸角度が国際基準より急角度に設定され、実機飛行の前から「危険だ」「事故に繋がりがかねない」とパイロットらが指摘していました。

こうした指摘も無視して実機飛行が始まりましたが進入角度の対応を理由に急きょ航空会社「エア・カナダ」は目的地を成田に変更。アメリカのデルタ航空も試験飛行を見合わせました。ルート下で暮らす住民も航空機の乗客も危険にさらす計画は撤回しかありません。

大井町駅前にて現地調査

2月7日夕方、日本共産党の国会議員、都議会議員、品川区議員が合同で、地元住民と一緒に低空飛行の現地調査を行いました。

品川区議会も予算議会が始まります。区政をただすと共に、計画を強行する安倍政権、計画推進の東京都知事への追及も、連携して進めていきたいと思ひます。



羽田新ルート計画の撤回へ 品川区民投票を成功させ圧倒的な反対民意を

国土交通省は実機飛行を終了し、3月末からは本格運用を開始する考えです。これに対して、住民投票を成功させて、計画を撤回させようと区民運動が始まっています。

羽田新ルートの実施決定は国土交通大臣が「地元の理解が得られた」との判断が根拠です。だからこそ、住民投票で圧倒的な反対民意を示し大臣判断を変更させ、計画を撤回させましょう。

直接請求による住民投票の実施には、一ヶ月間の法定署名集めと区議会における過半数以上の可決が必要です。法定署名は3月20日から開始を予定しており、現在、署名集める協力者（受任者）を募集しております。ぜひ、多くのご協力をお寄せください。よろしくお祈いします。 なかつか亮

なかつか亮 1975年品川区西大井生まれ／43歳／03年に27歳で初当選し、5つの常任委員会をはじめ、予算・決算委員会副委員長や行革特別委員会委員長を経験／区議5期／党区議団幹事長／家族：妻／29号線認可取消裁判原告／趣味：料理、旅行 

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配付して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。